



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9075 URL http://www.fukutsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務担当 (氏名) 桑本 聡 TEL 084-924-2000  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	192,224	2.9	9,890	0.1	10,506	△1.6	6,310	26.7
25年3月期第3四半期	186,817	△1.0	9,883	△12.9	10,672	△8.2	4,980	△27.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,206百万円 (53.9%) 25年3月期第3四半期 5,982百万円 (△39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.44	—
25年3月期第3四半期	20.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	382,866	195,932	50.7	813.11
25年3月期	366,114	189,303	51.2	785.40

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 194,039百万円 25年3月期 187,437百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,000	3.1	12,000	△1.2	12,500	△8.1	7,300	68.8	30.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	278,851,815株	25年3月期	278,851,815株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	40,212,123株	25年3月期	40,200,666株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	238,645,277株	25年3月期3Q	240,065,941株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の金融緩和策等による円安・株高を背景に企業収益・雇用・所得環境にも改善が見られ、景気は緩やかに回復を続けてまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、景気を持ち直しを反映し、消費関連荷物を中心に増加傾向にありますが、為替の影響から燃料価格は依然として高止まりを続け、人手不足を補う人件費をはじめとした外注費の高騰も続き、厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと当社グループでは、ネットワーク網の拡大など積極的な事業展開に向けて諸施策を講じてまいりました。

以上の結果、売上高は1,922億24百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は98億90百万円（前年同四半期比0.1%増）となり、経常利益は105億6百万円（前年同四半期比1.6%減）、四半期純利益は63億10百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

これらをセグメント別に見た営業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、新規出店を通じてネットワーク網の拡大を図るとともに、一方では荷物の選別輸送の強化に努め、運賃収受率の向上を図ってまいりました。以上の結果、売上高は1,694億35百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は88億54百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

流通加工事業におきましては、流通センターの開設と新規顧客の効果もあり、売上高は85億8百万円（前年同四半期比5.0%増）となりましたが新施設の開業費がかさみ、営業利益は4億28百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

国際事業におきましては、通関取扱件数は減少いたしました但し東南アジアを起点とした営業強化策により、売上高は45億91百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は4億6百万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

その他事業におきましては、賃貸施設の稼働率の向上もあり、売上高は96億89百万円（前年同四半期比8.7%増）となりましたが営業利益は26億71百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて167億51百万円増加し3,828億66百万円となりました。これは主に、建物などの有形固定資産が84億88百万円増加したことや投資有価証券などの投資その他の資産が79億19百万円増加したことにより固定資産が166億30百万円増加したことによります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて101億22百万円増加し1,869億33百万円となりました。これは主に長期借入金の減少などにより固定負債が10億28百万円減少した反面、支払手形及び買掛金や1年内返済予定長期借入金の増加などにより流動負債が111億51百万円増加したことによります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて66億28百万円増加し1,959億32百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加により株主資本が39億29百万円、その他有価証券評価差額金の増加によりその他の包括利益累計額が26億72百万円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月5日の「平成26年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,756	26,387
受取手形及び売掛金	33,528	36,843
繰延税金資産	1,489	593
その他	3,141	3,248
貸倒引当金	△280	△315
流動資産合計	66,636	66,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	193,758	202,479
減価償却累計額	△130,822	△133,790
建物及び構築物(純額)	62,936	68,688
機械装置及び運搬具	57,696	59,139
減価償却累計額	△48,650	△50,309
機械装置及び運搬具(純額)	9,045	8,830
工具、器具及び備品	13,143	13,363
減価償却累計額	△11,028	△11,257
工具、器具及び備品(純額)	2,114	2,106
土地	184,504	186,214
建設仮勘定	2,700	3,950
有形固定資産合計	261,301	269,789
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	29,674	35,007
繰延税金資産	1,430	1,574
その他	3,509	5,913
貸倒引当金	△120	△81
投資その他の資産合計	34,494	42,413
固定資産合計	299,478	316,108
資産合計	366,114	382,866

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,130	18,825
短期借入金	11,900	11,900
1年内返済予定の長期借入金	6,413	14,690
リース債務	2,079	1,388
未払法人税等	3,482	1,517
賞与引当金	2,821	1,141
その他	16,318	21,834
流動負債合計	60,146	71,298
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	41,038	38,847
リース債務	1,017	61
再評価に係る繰延税金負債	27,574	27,563
退職給付引当金	16,216	16,934
再開発費用引当金	2,378	2,378
債務保証損失引当金	13	13
負ののれん	73	36
その他	8,350	9,799
固定負債合計	116,663	115,635
負債合計	176,810	186,933
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	37,102	37,102
利益剰余金	98,535	102,471
自己株式	△17,317	△17,324
株主資本合計	148,631	152,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,163	10,827
土地再評価差額金	30,629	30,617
為替換算調整勘定	12	34
その他の包括利益累計額合計	38,806	41,479
少数株主持分	1,866	1,893
純資産合計	189,303	195,932
負債純資産合計	366,114	382,866

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	186,817	192,224
売上原価	172,622	177,691
売上総利益	14,195	14,532
販売費及び一般管理費	4,311	4,642
営業利益	9,883	9,890
営業外収益		
受取利息	12	3
受取配当金	449	614
負ののれん償却額	36	36
補助金収入	470	—
その他	295	331
営業外収益合計	1,264	986
営業外費用		
支払利息	336	293
その他	139	77
営業外費用合計	475	370
経常利益	10,672	10,506
特別利益		
固定資産売却益	2	140
負ののれん発生益	268	121
投資有価証券売却益	—	543
債務保証損失引当金戻入額	3	—
受取和解金	—	205
特別利益合計	274	1,011
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	319	333
減損損失	474	177
投資有価証券評価損	227	202
投資有価証券売却損	0	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
厚生年金基金脱退拠出金	934	32
特別損失合計	1,956	749
税金等調整前四半期純利益	8,991	10,767
法人税、住民税及び事業税	2,935	3,725
法人税等調整額	1,036	533
法人税等合計	3,972	4,258
少数株主損益調整前四半期純利益	5,019	6,509
少数株主利益	38	198
四半期純利益	4,980	6,310
少数株主利益	38	198

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,019	6,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	963	2,671
為替換算調整勘定	△0	26
その他の包括利益合計	962	2,697
四半期包括利益	5,982	9,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,938	8,995
少数株主に係る四半期包括利益	43	211



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	165,245	8,100	4,561	177,907	8,910	186,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	6,817	6,817
計	165,245	8,100	4,561	177,907	15,727	193,634
セグメント利益	8,283	517	312	9,113	2,892	12,006

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,113
「その他」の区分の利益	2,892
全社費用(注)	△2,122
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,883

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「運送事業」セグメント及び「流通加工事業」セグメントにおいて営業活動から生じる損益の継続的なマイナス、又は地価の著しい下落が認められる資産グループについて、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該特別損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「運送事業」が156百万円、「流通加工事業」が2百万円であります。また、報告セグメント以外の減損損失の計上額は315百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「運送事業」セグメントにおいて、絹川屋運送株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては846百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより268百万円の負ののれん発生益を計上しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	169,435	8,508	4,591	182,535	9,689	192,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	6,516	6,516
計	169,435	8,508	4,591	182,535	16,205	198,741
セグメント利益	8,854	428	406	9,689	2,671	12,360

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業（委託業務）等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,689
「その他」の区分の利益	2,671
全社費用（注）	△2,470
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,890

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「運送事業」セグメントにおいて営業活動から生じる損益の継続的なマイナス、又は地価の著しい下落が認められる資産グループについては、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、また除却予定となった資産については、当該資産の使用価値を零としてそれぞれ当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該特別損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「運送事業」が110百万円であります。また、報告セグメント以外の減損損失の計上額は67百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより116百万円の負ののれん発生益を計上しております。また、報告セグメント以外の負ののれん発生益の計上額は5百万円であります。